

「エコシティたかつ」学校流域プロジェクト 環境学習授業実施報告書

実施日時	2011年 9月 7日(水) 9:30~12:00
実施場所	梶ヶ谷小学校 ビオトープ池及び理科室
実施対象	3年生3クラス(約180名)

実施内容

1 授業内容

池の生きものを網ですくい、理科室で観察を行う。

(1) 生きもの採取【池】

今日の授業の流れや注意点等を説明する。

各児童手網を持ち、池の水や泥をすくう。その中から生きものを採取する。

(2) 顕微鏡や映像機器、パネルを用いた観察と解説【理科室】

採取した生きものをシャーレに入れ、肉眼と虫眼鏡を用いて観察・スケッチを行う。

その後、映像機器、パネルを用い生きもの解説を行う。

また、ファットヘッドミノー、アズマヒキガエルを採取したので、外来種及びカエルの毒性について解説を併せて行った。

	生きもの採取【池】	観察【理科室】
2組	9:30~9:50	9:50~10:30
3組	10:15~10:35	10:35~11:15
1組	11:00~11:20	11:20~12:00

2 事前・事後作業

- ・事前に観察用の生きものを池で採取した。授業終了後、生きものを池に戻した。
- ・理科室で、道具や映像器具などの準備、調整を行った。

観察した生きもの

池のビオトープは確認できた生きもの、蝶のビオトープは植えた植物等を記入

アカムシ、ミズムシ、カイミジンコ、イトミミズ、シマイシビル、ヤゴ(シオカラトンボ)、メダカ、タニシ、モノアラガイ
ニホントカゲ(幼体)、ファットヘッドミノー(※外来種)、アズマヒキガエル

問題点・気付いた事・その他

- ・梶ヶ谷小学校の前の環境学習のときも、ファットヘッドミノーを確認、捕獲除去していたが、今回も確認された。
- ・前回の授業ではギンヤンマのヤゴを多数確認できたが、今回は小さなシオカラトンボのヤゴしか確認できなかった。
(これは、夏にギンヤンマのヤゴがトンボになり飛び立ったことだと考えられる。)
- ・アズマヒキガエルなどカエルを触った児童には、すぐ手を洗うことを伝えるよう徹底していく。



今日の活動の説明



いきもの採取



生きもの観察



生きもの観察



生きもの解説



生きもの解説



TVモニターを用いた生き物解説



捕獲した外来生物の観察